

令和3年度 北区組織目標

組織名	北区	区長	北区長 高橋 昌子
組織の目的・方向性	北区区ビジョンまちづくり計画で区の将来像として掲げた、「自然・活力・安らぎにあふれるまちー住みたくなるまち 北区ー」のもと、「住みたい」はもちろん「戻ってきたい」「住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりを進めます。		

北区組織目標

「住みたくなるまち 北区」を目指し、北区区ビジョンの5つの区のすがたに重点的に取り組み、北区の魅力を高め、地域との協働を推進します。

〈重点目標〉

- 1 自然環境の保全と積極的活用
- 2 都市基盤の整備
- 3 魅力ある産業の振興
- 4 学びと健康・福祉の充実
- 5 安全で快適な環境づくり

※重点目標における指標や取組状況は、組織目標管理シートをご覧ください。

評価

取組結果	重点目標の達成状況	目標数		達成数	
今後の方向性					

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-387-1150

年度	令和3年度	
組織名(部)	北区	組織名(準部・課・機関名)
組織の目的	北区区ビジョンまちづくり計画で区の将来像として掲げた、「自然・活力・安らぎにあふれるまちー住みたくなるまち 北区ー」のもと、「住みたい」はもちろん「戻ってきたい」「住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりを進めます。	

作成日	令和3年4月1日
修正日	
評価日	

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標			R3結果	補足・参考指標
1	1	地域と協働し水辺環境の保全と積極的な活用を推進します。	・異常発生植物等の駆除 ・観察会・勉強会の実施 ・環境保全活動	取り組み地区数(地区)	-	-	2	2				
2	1	松浜海岸の飛砂被害の軽減と暮らしやすい環境づくり、地域の問題を共有するため、官民協働での植栽イベント等を行います。	・地元小学校・住民、国土交通省、新潟市による官民協働の植栽イベントの開催 ・実施に向けた地元及び関係機関との調整協議	目標参加人数:200人以上			200		・区づくり事業(令和3年度~5年度) ・参加人数=官+民			
3	2	「北区生活交通改善プラン」(令和2年3月策定 3カ年計画)に基づき、身近な生活交通を確保します	・社会実験の継続および本格運行に向けた取り組みの実施	デマンド交通の乗合率(%)	49.1	46.8	53	60		・対象は長浦・岡方地区、葛塚地区の一部地域 平成24年10月に運行開始 ・現在は料金体系の見直し案について地域合意形成済、改正に向けて開		
4	2	上半期の高い工事発注率を維持します。	・工事の早期発注	上半期の工事発注率(%) (発注件数/当初計画件数)	86.6	91.4	89.8	85		・250万円以上の当初工事計画件数を分母とした上半期発注率85%以上を発注 (対象工事:維持40本、整備29本)		
5	2	新崎駅自由通路両側にエレベーターを設置し、児童の通学路や避難路としての利便性向上と安全性の確保を図ります。	・次年度以降の工事施工に向けた実施設計業務委託の発注 ・JRや本庁など庁内外の関係機関との協議	業務委託の発注			業務委託の発注	実施設計業務委託の発注		・工事施工に向けて隣接住民への説明		
6	3	地域商業活性化のため、テーマを設定し、テーマに沿った商品、コンテンツ開発やPRを行い、各店舗等において使用することで新規誘客とイメージアップを図ります。	・地域商業賑わい創出プロジェクト	地域ごとのイベント等の実施(回)	3	3	4	3				
7				新型コロナウイルス感染症に対応した活性化の取組み(回)	-	-	-	1				
8	3	官民一体となった海岸保安林の保全活動を推進し、森林資源や環境を有効に活用する方策を検討します。	・下草刈などの保全活動の実施	保全活動の実施(参加人数)	169	161	157	160		・保全活動エリア約5haを住民と協働で維持管理します。		
9	3	生産現場にICT等の新技術を導入することで農業所得の増大、担い手の確保を図り、地元ブランド農産物の安定生産を実現し、地域経済の活性化につなげます。	・農作業の省力化、品質の平準化を可能とするICTを活用した新技術の導入に向けた栽培実証の実施	栽培実証数(件)	-	-	-	1		・県内有数の産地である、トマト栽培におけるICT技術の普及に向けてモニター農家による栽培実証(養液土耕栽培システム・環境モニタリングなど)を実施します。		
10	4	常設展及び、常設のテーマを深化・拡大した企画展の充実を図ります。そして、それらに関連するさまざまな事業を多角的に行うことにより、北区民の地域への関心を高めるとともに、一体感を醸成するよう努めます。さらには、郷土芸の伝承を支援します。	・常設展「阿賀北の大地と人々の暮らし」をテーマに教室等を開催 ・常設展拡大企画「昭和のくらし5」等の開催 ・ふるさと学習の利用拡大 ・(小中学生公募)「松蔭賞書道展」、「北区こども科学展」など ・第30回博物館まつりの開催 ・美術企画展「本の読みかた、愛しかた」の開催 ・美術企画展「眼と手のあいだー“写す”の不思議ー」(仮称)の開催	年間入館者数及び事業参加者数(人)	9,141 (入館者: 8,265人、 館外事業参 加者:876 人)	9,068 (入館者: 8,895人、 館外事業参 加者: 173人)	6,497 (入館者: 6,242人、 館外事業参 加者: 255人)	6,500 (入館者: 6,250人、 館外事業参 加者: 250人)		・常設展拡大企画展の開催 ・ふるさと学習の利用拡大 ・美術企画展の開催 ・恒例の「博物館まつり」においては、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。令和3年度は、感染拡大の影響を見ながら、時間や人数制限をしながら対策を取って、実施する方向。 ・松蔭賞書道展、こども科学展の感染対策をとって実施の方向。 ・来館者数は、令和2年度と同程度の入館者数とします。		
11	4	つながり、交流し、支えあ地域づくりを推進するため、北区地域福祉計画・地域福祉活動計画の普及・啓発を進めるとともに取組事業の進行管理を行います。	・「地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会」を開催 ・各地域コミュニティ協議会や区社会福祉協議会など福祉関係機関等との協働により福祉座談会を開催	推進策定委員会開催(回) 地域福祉座談会開催(回)	-	-	・委員会3回(内、書面開催1回) ・座談会8回 ・講演会の開催	・委員会3回 ・座談会8回				
12	4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくりを推進するため、健康寿命の延伸に向けて、特定健診の受診率を向上させるとともに、生活習慣病の重症化予防を推進します。	・健診カレンダーの全戸配布 ・未受診者に対する受診勧奨 ・健康教育など地域活動時の声かけ ・ミッドウエイ型集団健診の実施 ・高血圧に注目した健康講座の開催	特定健康診査受診率(%)	33.9 (4,754人) 市受診率 35.48	33.83 (4,581人) 市受診率 36.46	24.39 (3,225人) 市受診率 25.10 (2021年2月5日)	前年度比較 0.5%UP				
13				生活習慣病予防講座開催数(回)	11回	7回	4回	7回				
14	4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくりを推進するため、高齢化の進展に伴い、増加が予想される認知症患者を早期に発見し、早期治療につなげます。	・もの忘れ検診の実施 ・検診会の実施 ・認知症に関する啓発 ・地域の茶の間などのリーダー養成 ・フレイル予防事業	受診者数(人)	1,393	1,150人	979人	1,000人				
15				地域での認知症予防講座開催数	2	7	15	15				
16				フレイルチェックの実施回数	-	-	2	4				
17	4	だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくりを推進するため、介護について学んでいる大学生と連携し、介護の基本的知識やスキルを身に付けてもらうとともに、学生と地域とのつながりを深めます。	・大学生による家庭介護セミナーの実施	地域での大学生による介護セミナー実施回数			2	2				
18	4	妊娠前から出産後の切れ目ない子育て支援を行います。	・月1回の支援検診会の充実 ・支援を要する対象者への妊娠前から継続的な支援の実施 ・ケースワーカーと保健師と連携した支援	支援を必要とする妊産婦に対する相談及び訪問を実施した数(人)	必要対象者への支援 100%	必要対象者への支援 100%	対象者に対しての全数	対象者に対しての全数		・検診会で全妊婦の母子手帳交付時の状況を確認し支援が必要か決定します。 ・産後新たに支援が必要になった人の振り返りを含めた検診会を充実します。 ・障がい福祉サービス等円滑な利用につなげます。		
19	4	健康寿命の延伸や介護予防に向けて、自ら予防できる市民を増やし、健康で暮らせる地域づくりを推進します。	・保健事業や依頼健康教育など地区活動時の声かけ ・医療機関に健診受診勧奨の協力依頼 ・特定保健指導の未利用者訪問 ・運動講座の開催 ・関係機関と連携した、健康寿命延伸に関する知識の普及啓発	健診受診勧奨の協力依頼をした医療機関数(か所)			-	6		・特定健診委託医療機関訪問等で健診の受診率向上を図ります。		
20				高血圧予防等生活習慣病予防をテーマにした健康教育(回)			16	16		・各種保健事業や地区活動等で地区データを活用した健康教育を実施します。		

No.	部 区 組 織 目 標	組 織 目 標	主 な 取 組 (事 業)	指 標					目 標 達 成 状 況	評 価	
				項 目 (単 位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標			R3結果
21	4	スポーツ活動を通じたスポーツを愛好できる機運を醸成するとともに、文化・芸術事業による賑わいの創出と地域の活性化を図ります。	区スポーツ協会などと連携して ・競技別大会の実施 ・ニュースポーツの体験会 ・スポーツレクリエーションの実施	参加者数(人)	1,960	1,928	813	1,000		多くの人が参加できるよう、指定管理者や関係団体と連携して取り組みます。新たに身近な場所のできる運動の普及を図ります。	
22			・市民・指定管理者・行政の協働による北区文化会館の利用促進	年間利用者数(人)	88,824	78,023	33,450	43,500		・新型コロナウイルスの影響を1年間と考慮し、前々年度目標の約50%と設定します。	
23	5	地域の自主防災力の強化を図ります。	・地区の災害リスク、避難のあり方について説明会を実施	説明会の実施組織数	—	—	14	20		「避難の目的」、「避難所開設基準」チラシ及び北区河川別ハザードマップ、総合ハザードマップを用いて説明	
24	5	自治会・町内会、地域コミュニティ協議会、市民団体などの協働により地域課題を解決します。	・地域活動補助金 ・コミ協運営助成金 ・コミ協等への支援(助言等)	協働した団体数	67 (28)	31	19	20		・団体実数 ・平成30年度実績のうち、地域活動補助金により協働した団体数には、地域による子どもの見守り活動を支援する緊急枠により協働した39団体を含む。括弧書きは緊急枠を除いた団体数。	
25	5	各防犯団体の課題とその解決方法や危険箇所等の情報共有を行い、地域防犯力の向上を図り、もって、犯罪のない安心・安全なまちづくりを進めます。	・各防犯団体間の情報共有や意見集約を実施 ・既存の不法投棄防止看板の修繕 ・防犯カメラ補助金申請の相談支援(例:ダミーカメラの貸出で効果検証等)	情報共有と意見集約(件)	—	—	—	1			
26	5	危険な野生鳥獣目撃等事案に迅速に対応し、安全で快適な環境づくりを進めます。	・危険野生鳥獣(クマ・イノシシ・サル等)目撃等事案対応マニュアルの整備 ・発生時連絡体制整備 ・隣接市町村(阿賀野市・新発田市)との連携	北区マニュアルの策定(件) 区役所内説明(回)	— —	— —	— —	1 1		・危険な野生鳥獣目撃等対応事例数	
27	5	つながり、交流し、支えあう地域づくりを推進するため、地域の中で世代間が交流し、子育てを支えあう取組みを行います。	・支援拠点施設等での子育て支援講座の実施 ・SNSによる北区の子育て情報の配信 ・地域での子育てを地域で支え合う体制づくり ・児童の福祉向上に寄与するイベントの実施	子育て支援講座の実施回数 ※3講座	—	—	—	16		・傾聴スキル習得講座4回 ・北区バススクール2回 ・NP講座10回	
28			子育て応援カフェの実施回数	—	—	—	11		・ベビーカフェびびよ11回		
29			北区ふゅっこまつりの開催	開催	中止	縮小開催	開催		・実行委員会で開催内容検討		
30	5	災害時に迅速に対応できるよう災害支援協定を締結した民間団体との連携強化を図ります。	・民間団体との意見交換会や連携体制の徹底・確認を目的とした合同訓練の実施	意見交換会(回) 合同訓練(回)	— —	— —	— —	2 1	2 1	・民間団体との意見交換会により抽出された課題に対応する合同訓練の実施 ・協力業者が担当する路線の状態把握に寄与	